

研修会を受講される方へ

北海道看護協会では、研修会を開催するにあたり、下記についてご協力をお願いしております。

1. 研修受講を控えていただく場合

- ① 研修開催前に新型コロナウイルス感染症の確定診断を受けている。
- ② 研修会当日、発熱等感染を疑われるような症状がある場合

2. 研修受講者へのお願い

- ・ 研修会受講の際は、各自健康チェック（朝自宅で体温測定）してから来館して下さい。

《来館時》

- ① 館内ではマスク着用をお願いします。
- ② 来館時及び適宜手洗い・手指消毒をお願いします。

《研修中》

- ① 昼食は自席にて黙食で摂取してください。（マスクを外し、会話をしながらの食事はご遠慮ください）
- ② 研修室のドアは開放のままとし、窓を開けて定期的に換気します。場所によっては寒い場合がありますので、各自衣服・ひざ掛け等で対応できるようご準備ください。（ひざ掛けの貸し出しは行いません）
- ③ 筆記用具は各自持参し、他者との共有を控えてください。

3. 研修開催中止時の連絡

新型コロナウイルス感染症に関連して、急遽研修を中止する場合があります。

中止する場合は、登録された連絡先への電話および北海道看護協会ホームページにてお知らせします。最新情報をご確認のうえ、ご参加ください。

<問い合わせ先>

公益社団法人北海道看護協会 教育課
☎ : 011-861-3273
✉ : kyoiku@hkna.or.jp

会場研修当日のご案内

【受付】

・受付開始時間 9：20、受付場所：4階研修室1・2

※受付開始時間よりも早く着いた方は1階のエントランスホールか、4階研修室前ホールでお待ちください。

【受付方法】

- ・受付で受付表（五十音順）に記載しているご自身の名前に○をつけてください。
- ・受付横にあるボックスにオンデマンド受講証明書の提出をお願いします。
確認後、返却いたします。
- ・研修室前のグループ表を確認し、着席ください。グループ内では自由席です。

【携帯品】

- ・オンデマンド受講証明書
- ・筆記用具

【講義資料】

- ・当日、会場で配付します。

【感染対策】

- ・館内はマスク着用をお願いしております。
- ・「研修会を受講される方へ」をご確認をお願いします。

【昼食について】

- ・お弁当の販売はありません。各自でご持参ください。
- ・館内にはカップ麺・菓子パン・飲料の自動販売機がございます。
(電子レンジ・お湯あります)

【駐車場利用券が届いた方】

・駐車場に車を駐めた後、1階のエントランスホールにある「駐車料金精算用」の自動販売機に400円を投入してください（ペットボトルのお水又はお茶が出るのでどうぞお持ちください）

〈お問い合わせ先〉

公益社団法人北海道看護協会 事業部教育課

TEL：011-861-3273

日本看護協会インターネット配信研修[オンデマンド]を活用した 医療安全管理者養成研修（集合研修）開催要領

[研修分類:] V看護管理者とこれから看護管理を担う人々への看護管理能力向上を支援する研修
①看護管理能力向上を意図した研修(看護管理者向け診療報酬算定関連含む)

主催 公益社団法人 日本看護協会

- 1 目的 所属施設及び地域で医療安全管理業務を実践できる
- 2 目標 (1)安全管理業務を遂行するために必要な以下に関する知識・技術を習得する医療安全の基礎知識／安全管理体制の構築／医療安全についての職員研修の企画・運営／医療安全に資する情報収集と分析、対策立案、フィードバック、評価／医療事故発生時の対応／安全文化の醸成
(2) 演習を通して実践方法がわかる
- 3 開催日 第1回：令和5年11月18日（1日間）
第2回：令和5年12月2日（1日間）
第3回：令和5年12月9日（1日間）
- 4 開催会場 公益社団法人 北海道看護協会
〒003-0027 札幌市白石区本通17丁目北3番24号
- 5 定員 各50名
- 6 受講対象 以下の3要件をすべて満たす者
(1)医療安全管理者または1年以内に医療安全管理者になる予定の者
(2)上司の推薦があること
(3)2023年度に開催する研修プログラムを全時間受講可能なこと
上記要件のほか、看護師長に相当する職以上にあることが望ましい
- 7 修了証 本研修は、厚生労働省に承認を得た診療報酬加算の要件を満たす内容となっており、インターネット配信研修（35時間）と演習を含む集合研修（5時間）を全て受講した者に、日本看護協会会長名で修了証を発行します。遅刻・早退は認めません。
- 8 受講方法 オンデマンド講義（35時間）をすべて受講後、オンデマンドの受講証明書（以下、オンデマンド受講証明書）を持参し、北海道看護協会で集合研修（5時間）を受講する。
- 9 携帯品 「オンデマンド受講証明書」を必ずご持参ください。
- 10 個人情報の取り扱い 研修会申込書等で得た個人情報は、研修受講履歴を会員専用ページ「キャリアース」で会員本人が参照できるよう、会員情報管理体制ナースシップへ連携するために利用することをご了承ください。
- 11 連絡先 公益社団法人 北海道看護協会 事業部教育課 TEL：011-861-3273
※遅刻・欠席の際は、必ずこちらまでご連絡ください。
- 12 その他 駐車場利用を希望される方は同封の駐車場申込書を、FAXでお申し込みください。
申込締切：第1回(11月18日)は10月18日
第2・3回目(12月2・9日)は11月2日

13 プログラム

時間	内容	講師
9:50～	オリエンテーション	
10:00～11:00 (講義)	安全文化の醸成 1. 安全文化と4つの下位文化 2. 安全文化の醸成に向けた活動	岡林 靖子 (北海道大学 病院 副病院 長・看護部長)
11:00～15:00 (昼休憩を含む) (演習)	<p>【目的】 集合演習により以下1～3に沿った実践的な学びを深める</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 医療機関内において、医療事故事例やヒヤリ・ハット事例の報告と共有を効果的にするための体制の整備 2. 医療事故の発生予防や再発防止を効果的にする体制の確立 3. 発生予防や再発防止を目的とするため、医療事故やヒヤリ・ハットの報告者を非難しない組織文化の醸成 <p>【演習のポイント】 ・病院の状況(組織文化など)や医療事故発生の状況設定事例に基づき行う</p> <p>【演習の実際】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①講義および演習の導入(20分) ②グループワークを行う(90分程度) <ul style="list-style-type: none"> ・状況設定をもとに医療安全の体制整備や組織文化の醸成の方法を検討する ・受講者は医療安全管理者という設定とし、これまでのすべての講義の知識・技術を統合して、解決方法や自身の行動を考えられるようにする ・ファシリテーター ③全体発表 <ul style="list-style-type: none"> ・グループ討議の結果を発表し、質疑応答等を交えて全体で共有する ・医療安全管理者として安全文化醸成のための行動のポイント(模範解答)を学ぶ ④まとめの講義 	
15:00～16:00 (講義)	患者、家族の医療への参加 1. 患者、家族の医療への参加方法 2. 遺族の立場で考える医療安全	

《演習支援者》 旭川医科大学病院 医療安全管理者 清水 由美子